

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	茅ヶ崎里山公園		
所在地	茅ヶ崎市芹沢		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成13年10月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p><評価の理由> 利用状況がB、利用者の満足度がS、収支状況がAとなったことからA評価となった。</p> <p><今後の課題・対応等> 安全管理に引き続き留意しながら、公平な利用指導を継続するとともに本公園の特性を活かした利用拡大に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、地域団体や学校等と連携した農体験活動、ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環(バイオマス利用等)の取組や地元食材を活用した飲食サービスの提供など公園の魅力伝えるプログラムを実施し、優れた実績をあげた。樹木診断の結果を踏まえ、高木の伐採等を行うなど安全確保に努めた。</p> <p>◆利用状況 夏季(8月)と行楽シーズンの秋季の天候不順、秋季からの駐車場料金体系の変更等により、前年度に比べ2割程度減少し、目標比で約12%のマイナスとなったためB評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が約98%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 自動販売機収入は振るわなかったが、発注方法の見直しなどコスト削減に努めた結果、収支差額は約2%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 寄せられた苦情については誠実に対応した。</p> <p>◆事故・不祥事 利用者の転倒事故、指定管理者職員による事故が複数回、発生した。事故発生毎に原因を整理し、再発防止に努めた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成29年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■里地・里山の自然を活かし楽しむ環境づくり ○地域団体や学校等と連携した農体験活動 ○ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体や学校等と連携した農体験活動や里山保全活動を実施 ・ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環(バイオマス利用等)の取組を実施 	
■楽しく快適な公園利用 ○公園の魅力を伝えるプログラム提供 ○地元食材を活用した飲食サービスの提供 ○来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・里山学校の取組を継続 ・公園の魅力を伝える様々なプログラムを実施 ・地元食材を活用した飲食サービスの提供を実施 ・来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理を実施 ・樹木診断の結果を踏まえ、高木の伐採等を実施 	
■健康的な暮らしの支援 ○ボランティアと協働による農体験での健康づくり ○県民協働によるエコ的食のイベント等の取組 ○近隣大学等と協働による周辺地域も含めたエコツーリズムの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと協働し農体験を通じた健康づくりの取組を実施 ・県民協働によるエコ的食のイベント等の取組を実施 ・近隣大学等と協働による周辺地域も含めたエコツーリズム等の取組を実施 	
■防災機能の確保 ○災害時対応体制の整備 ○業者と連携した消防訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に対応できるよう緊急参集訓練を実施するとともに備蓄用品の確保等を実施 ・全職員による消火訓練及び設備業者と連携した消防訓練を実施 	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	おこじゅう広場のバーベキュー場の運営を行った。
駐車場の運営	駐車場の運営を行った。
自動販売機の運営	自動販売機の運営を行った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	559,222	567,463	463,694
対前年度比		101.5%	81.7%
目標値	526,000	526,000	526,000
目標達成率	106.3%	107.9%	88.2%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数及び団体申込数等から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 119 / 119 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	77	37	3	2	0	119	いつもきれい
回答率	64.7%	31.1%	2.5%	1.7%	0.0%		
前年度の回答数	80	46	1	3	0	130	
前年度回答率	61.5%	35.4%	0.8%	2.3%			
回答率の対前年度比	105.1%	87.9%	327.7%	72.8%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳			収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	113,600		16,105	駐車場11,828 自販機4,277	129,705	129,705	0	
	決算	113,600		14,886	駐車場11,256 自販機3,630	128,486	126,015	2,471	101.96%
前年 度	当初 予算	113,600		16,212	駐車場11,828 自販機4,384	129,812	129,812	0	
	決算	113,600		14,859	駐車場11,019 自販機3,840	128,459	121,041	7,418	106.13%
29 年度	当初 予算	113,600		16,910	駐車場12,419 自販機4,491	130,510	130,510	0	
	決算	113,600		16,212	駐車場12,489 自販機3,723	129,812	126,772	3,040	102.40%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

29年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	電話 1件	・管理用駐車場の優先利用	→対応等について説明
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	電話 2件	・紛失物に係る対応（警察署への届出が遅れた） ・駐車場平日有料化	→謝罪し、今後の対策等を整理し、今後は定期的に届出ることとした。 →有料化等について説明した
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月7日	① 利用者が木製階段で転倒し、腕を骨折した。 ② 同日、メール及び電話で報告を受けた。 ③ 男子大学生の腕の骨折。階段を1段増やすとともに注意看板を設置した。 ④ なし ⑤ 足を滑らせたこと ⑥ なし
7月9日	① 中の谷池東側の水路で遊んでいた子供がガラスの破片で怪我をした。 ② 同日にメールで、翌日に電話で報告を受けた。 ③ 足裏の切り傷。ガラスの破片の除去するとともに、立入禁止看板を設置した。また、水路の先の中の谷池にもガラス破片が残留している恐れがあることから、水抜きを実施した。 ④ なし ⑤ 水路へのガラス瓶の投げ入れ。 ⑥ なし
8月11日	① スタックした管理車両を発進させた際に樹木と衝突した。 ② 同日、メール及び電話で報告を受けた。 ③ 出来る限り、現場への移動時の車両の使用を自粛するとともに園地への乗入れはしないこととした。 ④ なし ⑤ 現場への移動に車両を使用したこと、園地への乗入れ。 ⑥ なし
9月9日	① 犬の散歩をしていた利用者が寄りかかった木柵が折れ、右足首と左手を打撲した。 ② 同日にメールで、翌々日に電話で報告を受けた。 ③ 右足首と左手の打撲。コーンとバーで立入禁止措置を取るとともに、速やかに補修した。また、園内の木柵の一斉点検を行い、指定管理者及び公園管理者それぞれ修繕を行った。 ④ 木柵の根元の腐食。 ⑤ 木柵の根元の腐食。 ⑥ なし
12月21日	① 東詰所及び風のテラスの自動販売機が荒らされた。 ② 同日、メール及び電話で報告を受けた。 ③ センサーライトを設置するとともに、防犯カメラ作動中の看板を掲示した。警備員に丁寧な見回りを依頼するとともに、警察に夜間の見回りを依頼した。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし
2月9日	① 管理車両が駐車場のゲートバーを破損した。 ② 同日にメール及び電話で報告を受けた。 ③ 職員に対し、安全運転に係る注意喚起を行った。 ④ なし ⑤ なし ⑥ なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。